夕刊
磐城新聞
八月二十六日發行
發行所 磐城新聞社
(日曜祭日翌日休刊)

童話……良寛さまと馬
島田忠夫

『良寛さまには、わしの家で、一ばんご馳走をさし上げたから、きつと、家へ來なさるに違ひないぞ』

ある家では、さう云つて門を新しく作りかへたりしました

『良寛さまは、よろこんでお酒を召上つたから、良いお酒を買つて來て置かう』

さう云つて、酒を買ひに行くお百姓もありました

3

寒い〳〵雪國にも、のごかな春が來ました。春はきつと、海の向うから、暖い風に乘つて來たのでせう―。すると、あたりの山々には、チラホラと木の芽も萠え、山ざくらも咲き初めました。村には、もくれんも、れんぎようも、李も、一ぺんに花を開きました

いよ〳〵、良寛さまの御命日の日でした

村の人々は、朝からいろ〳〵なご馳走をこしらへて良寛さまを待つてゐました

けれども、どこの家にも良寛さまのお魂は來ないやうでした

『ハテナ』

さう云つたのは子供でした

『あらあら、た前ヨ。うちのばか馬の顔へんだぞウ』

この貧しい、百姓家の子供は、自分の家の小つぽけな馬小舍の前へ、大せい子どもたちを呼んで來ました

『ひねエ、このウ、阿呆馬の顔ア、金いろに光つてらア』

『やつぱり、良寛さまのたましひが、やつてござらつしたんだゾ』

子どもたちは、がや〳〵集まつて、さわぎ出した。大人も集まつて來ました。そして、朝から作つておいたご馳走を、馬小舍に運んで來ました

阿呆馬――實際、この貧しい百姓家の馬は、すこし足りない、のろまな馬なのでした

山には、山ざくらがほの〴〵と白んでゐる靜かなたそがれでした

良寛さまが、ご命日に魂になつて村に還られた――そして乘りうつつた阿呆馬は、貧しい馬小舍の中に、長い顔を金いろに輝かせてゐました。そして、他愛もなく、ゆらりゆらり首を振りながら、村の人々の前でいかにもうまさうに、ご馳走を喰べてゐました

(おはり)

磐城歌壇
新妻久滿男選

『夜』 佐藤清長

○日の暮れは待ちたるもの丶來る如し、湯を浴みてをりほがら心に

○夜となれば清しきものよ八月は、ほのかなれども單衣は涼し

○街行かば眼にやはらかな灯の流れ、夜店通りの花屋に佇ちぬ

○清しさにふと佇ち寄りて親しめば、これの草花生々として

○灯に映えて淸しく蘭の三四本、眼にあざやかな伸びをしめせり

○風鈴はかせに吹かれて居たりけり、買ひ來て吾もかせに吹かせむ

○さめ〴〵と泣かばこと足る如くなり、思へ出ごとに一人はろ醉ふ

寸評 少々不用意に歌はれてゐるのは遺憾である。作者は時折無雜作にして而も極めて適切な語を表現上に使用してゐるが、何うかすると反つてそこからわざはひを醸し出すことがある。第一首下句一寸添削、第二首の下句は再考すべきもの、『風鈴は』も、も一度考へて欲しい。今が一番苦しい時であるから作者の自重を望むこと切。

偶占
珠雲 小野務中

五十年來陋巷民
箕裘相繼共相親
漫修邊幅作吾事
粗食弊衣唯守眞

潮聲硯靜抄帳
○穗麥 水明選

菖蒲太刀はきて男の子は威をはれる 武門
部屋せまくかざり立てたる内幟り
行く春の窓一ぱいに日の光り 皓月
朝顔の芽吹きそめたる初夏の庭
夏に入る夕べ散歩にさそはる丶 郡平
春惜しむ何會にいそぐ暇かな
菖蒲湯ひたりて幼子ものがたり 茂堂

その日
8月27日

△日蓮上人松葉谷の法難(文應元)△安政大獄鵜飼父子等處刑(安政六)△三炭鑛競技戰(昭和八)△豊間村會で講堂建設を決議(同九)

○眠り病東漸――。うつかり晝寢も出來なくなつて、人間の生活もます〳〵樂でなくなつた

兒童遊戯の演劇に就て 2
あけぼの生

二

劇的遊戯! これこそ、この要求に應ずるものである。以下その大体の特質に就て述べて見よう

第一、この遊戯は觀客といふものを考慮に入れない全然遊戯そのものを目的とする。勿論この遊戯も、凡ての他の遊戯のやうに、一個の見世物になる場合もあるが、本來劇的遊ぎは、將棋やフットボールと同じくその本旨は決して觀衆を目的とするものではない

次に斯種の遊戯は、之を演ずるものが、絶ねずその遊戯に關係を保つことを要する。この點がまた他の演藝と異るところで、他の演藝に於ては、役者は單に觀客の爲に芝居を演じて、一旦舞臺を去つたらもう何も感じないのであるが、劇的遊戯に於ては、演戯者は初めから終ひまで遊戯に何等かの關係におかれる

それからこの遊戯は前稽古といふものは無論無い見物人が見物の前稽古をしないのと同じことである。然し幾回も同じ遊戯を演ずることは出來る。それは丁度將棋指や、フットボールの選手が幾回も同じ勝負を繰返すのと同じく、決してその度毎に前回と全く同じ筋を辿ることはない

又、例へば別に藝術家とか專問家とかでなしに、何等素人の人でも、小說を讀み、繪畫を見、音樂を聽き、芝居にも行くと、つたやうな譯で、劇的遊ぎにしても、之がために特に職業的專門家を煩はすといふ必要はない。然し音樂會を聽くには幾分それに對する趣味と習慣とを要すると同じく、劇的遊ぎの爲にもそれ丈のことは必要である

そこでその劇的遊ぎを行ふには、先づこれを構成する要素が必要である。屋内或ひは屋外の廣場、背景、小道具、舞臺効果、俳優等普通の演劇の場合と同じであるが、勿論、必要に應じ相當の變更を要する

小説 誰が殺したか (106)
今野賢三作
龍造寺勝齋畫

第二の殺人 (七十六)

皆川刑事は、屑屋の女房を遠巻にするやうにして妻に逢ひにくるのを待つてつかまへるよりほか詮方がなくなつてから、もう一ヶ月もたつた

屑屋は屑屋で、其手をすつかり呑みこんでゐた。けれどもやつぱり女房は戀しかつた。子供の事が尚更頭からとれなかつた

そこで或る晩人目につかないやうな服装をして、普通の客に交つてひよつこり『米久』に姿をあらはした

丁度、晩飯時分の忙しい最中の事とて、どこの座敷もみな相客でいつぱいになつてゐた二階の廣間には押しあふ程にならんだ客が酒を飲む者、飯を食つてゐる者、何かしきりに大聲で話合つてゐる者、ほろ醉ひになつて勘定を拂つてゐる者等ごつたがへしになつてゐる中を女中達は忙しさうにして、立つたり坐つたり、出たり、はいつたり、お世辭をふりまいたり、返事をしたりしてゐた

屑屋がわづかの空席を見つけて割込んだ、そして人に顔を見られないやうにして俯向き加減になりながら傍をとほつた一人の女中に

『もしもしねえさん!』

と聲をかけた

『ハイ御注文でございますか』

『さうだ、なべと酒だ、あとで飯を食ふが……ときにちよつとこゝへ耳をかしてくれよ』

『ハイ、なんでございます?』

女中はけげんな顔をした

『おい、かういふわけだ』

四邊を見すましてから、一寸さゝやくと、女中はにつこりして

『ハイ、かしこまりました!』

と、こたへて立つて行つたしばらくたつた。前の女中が、肉や酒をはこんできた

『只今まゐりますわ、びつくりしてゐましたわ』

『さうだらう……』

屑屋もにこ〳〵した

『あつちのお座敷の番にあたつてゐたものですからちよつと離れられなかつたんですよ、けれどもじき來ますわ』

『ありがたう』

屑屋は盃を手にしながらその女中におじぎをした

一間ばかり離れたところへ、ブラリと一人のお客が入つてきた。職工風な姿をしてゐた。其女中が立つて行つたので、屑屋はチビ〳〵と一人で飲んでゐながら、なんとなくあたりに眼を配つた

一間ばかり離れた所に今入つて來たばかりのその職工風の男の横顔が眼についた

『ハテナ!』と思つた

『どつかで見たやうだぞ……!』

かう思つて、それとなく注意の眼を配つた

そこへ、すつかり女中姿に變つた女房が、心も躍る樣にいそ〳〵と、お客の間を縫ひながら近よつて來た

女房は流石に暫く振で思ひがけなくも、良人に逢ふことを思へば、眼頭に涙がにじんでくるのであつた。そして其テーブルの前に坐ると

『あんた!』

と、ひく丶聲をかけた

丁度その時、屑屋は見覺えのあるその職工風の男のことを考へてゐたが、懐しい聽きなれた妻の聲に吃驚した樣な顔をあげて思はずにつこりした

其時、屑屋は何氣なく横をチラと見ると、その職工風の顔がハッキリ見ゐるやうになつたので吃驚してしまつた。それは誰あらう皆川刑事であつた

瞬間に屑屋は妻に眼くばせして默つてソッと立上つた

增車御披露
陸の王者として定評ある流線型ダツチブラザース二輛增車致しました。タクシーを御使用の際は新車揃の尼子タクシーに御用命を御待致して居ります。
大型貸切專門車も御座います。
尼子タクシー
電話六四〇

内外建築材 建具材
(入) 阿部材木店
磐城國平町(公園下)
阿部好利 (改メ)(章)
電話四九四番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
(久) 釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

磐城共濟病院 (福島縣平町)(電話六四一番)
内科 小兒科 院長 醫學博士 石山謙郎 (電話六四一番) 部長 岩手醫學士 佐藤尚輔
産科 婦人科 副院長 醫學博士 五十嵐雄二 (電話三七〇番)
外科 耳鼻咽喉科 部長 醫學士 大町久藏
皮膚泌尿器科 花柳病科 部長 醫學士 前澤正 (電話二七二番)
X線科 醫學博士 石山謙郎
物療科 技手 石山彦
藥局 藥局長 藥劑師 吉本孝平 事務長 鈴木寶雄
◎毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
◎病室完備 入院隨意

專門 耳鼻咽喉科
高柳耳鼻咽喉科醫院
平町驛前 (電三三六)
醫學博士 高柳博明
(入院應需 自炊ノ便アリ)

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
◎秤ノ取緒・垂糸・條復致シマス
關内藥局 電話四〇番

高久病院 平町田町 (電話五三一番)
内科 小兒科 醫學士 高久忠
外科 花柳病科 新潟醫學士 赤羽清
耳鼻咽喉科 藥劑士 佐竹菊雄
レントゲン科

産科 婦人科 花柳病科
井坂醫院
午前宅診 午後往診 入院應需
平町田町 (元合津醫院跡)
電話五五九番

小兒科
志賀醫院
平町南町五〇番地
電話一六二番
(入院應需)

耳鼻咽喉科專門
山内醫院
平町田町 (電六九一)
醫學士 山内亨吉
病室完備 自炊ノ便アリ

診療科目
一、齒科一般 保存科、補綴科、繼續架工科 齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 西川誠
平町田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番

洋服は高島屋
洋服大特賣
男女用夏服豊富に取揃
注文並に既製品
(高) 高島屋洋服店
平町二丁目 電話三八六番

9ミリ半
ポニイ
活動撮影機 ¥18.00
活動映寫機 ¥17.00
西村屋藥舗
平・二・電三

外科
内臓外科
レントゲン線
病室完備
醫學博士 諸橋鐵彌
新川町二七 (電四六四)

月曜論壇

銀紙献納に就て

昨日曜のラヂオで某方面からの愛國機銀紙献納のニュースが放送されたのを聴いて憶ひ出したが、曾て某紙によつて物々しく報道された平花柳界に於ける銀紙献納計劃はその後どうなつたか。尤も吾人は該計劃が果してどれ丈けの眞實性を有するものであるか、或は何等かの機會に於て現はれた一二の愛國的意慾を相手が紅裙なるの故を以て強いて興味本位に取扱つたではないかとは當時既に考へさせられた事で今日尚ほ之が表面化を見ぬ處から一入その疑惑を深からしめらるゝものがある、一体平花柳界に於ける團体的計劃として傳ふるには少くとも全藝妓の半數なり三分の一なりが之に參加して居る事を必要とするもので最初新聞の記事が旋て其の機運を醸生せんとする政略であつたとせば其の是非に就て若干論議の餘地が無いでも無いが、さも無くて之が一種の獵奇煽情的の文字とあつたとせば社會の報道機關として些か輕忽の譏りを免れぬと思ふ。何となればこの記事によつて此の界隈に於ける稀有の事實として其の善行美事を社會に公約し乍ら其の結末を放漫に附するの咎めを假令暗默の裡にせよ一般民衆から浴びせらるゝ場合無きを保し難いからである若し夫れ該の事が幸にして道聽塗説の誤報や黄色紙的の誇張に出たものでなく、眞にその事實があり着々進行中であるとせば更に一段の努力を以て之を取り纏め須く燃ゆるが如き非常時日本女性の意氣を示して欲しいと思ふの念極あて切なるものがある。蓋し修飾誇張も假設想定も事によりけれで、事苟も國民の至誠奉公を題材とせるものに對し之が公表の前後に善良なる注意の欠くるあらば、根も無い宣傳に迷惑する關係筋の立場もさる事乍ら必然の結果として報道機關の面目にも係る事にならう、敢て戒心自重一番を望んで止まぬ

堂々たる改修道路で 本町から驛前へ連繫
鋪装工事至極順調に進行

平町田町地内縣道の鋪装工事は目下世界館前から常陽銀行脇通りに移り更に同區間の完成次第本通り殘餘區たる四丁目から五丁目間及マルトモ脇驛前通り新道の鋪装に着工するので現在使役三十名では人夫不足のため監督所では一昨二十四日紹介所に急遽就勞人夫の狩り出し方を依頼した。斯くして町の玄關地區が何れも鋪装されるに鑑み豫算の關係からのび〳〵になつた驛前廣場の鋪装を愈々來年度には實現する意氣込みで後藤驛長もこれが促進運動に乘り出す事になつたと

きのふ縣社前に 清明潔白を誓ふ
平町の選肅祈願祭

平町の選擧肅正祈願祭は既報の如く煙火合圖の下に昨二十五日午前九時から縣社子鍬倉神社々前に於て約五百餘名臨席の下に

修祓 祝詞奏上（山部神官）代表者誓詞奏上（青沼委員長）齊主玉串奉奠 代表者玉串奉奠

終つて柴田署長、篠山第一小學校長、青沼町長から肅正に因んだ講演あり同十一時終了した、誓詞左の如し

謹みて縣社子鍬倉神社の大前に白す、今回の福島縣會議員選擧に際し互に相戒め相率ひて必ず清明潔白なる心を以て事に當り苟しくも非由あらしめず忠良なる議員を擧げて地方自治の成果を收め以て天業を翼賛し奉らんことを期す冀くは冥鑑を垂れ給はんことを茲に一同を代表し謹みて盟ひ奉る

十年八月二十五日

福島縣平町代表 青沼銯太郎

肅正スタンプ押捺

肅正運動に大童の平町では更に直經約一寸五分『誓神一票明るい政治』の標語入り、朝日に選擧肅正を織り込んだ丸スタンプを作製、今後町役場で發送する關係文書更に近く毎戸に配布するパンフレットにもこれを押捺して趣旨の徹底を圖る事になつたと

。。。。選肅祈願祭一束 三阪澤佐組合村では二十五日から二十九日迄各部落毎に選擧肅正祈願祭を執行、又内郷村でも二十五日より二十日迄各部落で同様祈願祭を執行する

。。。。教員保姆檢定試驗 濱三郡の分は來る十月二十日より六日間午前八時より平第一校内に執行すると

唱遊講習會
けふから開始

郡女教員會主催の唱歌遊ぎ講習會は既報の如く女流新舞踊の第一人者石井小浪氏を招き今二十六日より平第二校講堂に開始、愛講者郡下女教員を擧つて四百餘名その他男教員等希望多く盛況を呈してゐる

滿洲拓大教授時局講演
鐵道主催東京

鐵道局委囑拓植大學教授隅川龜太郎氏の『世界の大勢と日本の地位』と題する講演會は明二十七日午前十時から平第三小學校講堂で開催一般の來聽を歡迎して開催する

同志討ちの結果 平商、磐中を破る
北日本軟式庭球了る

東北學院主催第十二回北日本中等校軟式庭球大會第二日は一昨二十四日午前九時第三回戰より開始、出場の磐中、平商兩軍何れも壓倒的優勢を示して、決勝戰は『庭球いはき』の同志討ち、即ち今年度縣大會の取組を再開し全國軟式庭球の最高水準を行く妙技を展開したが結局凱歌は平商本田―岩佐組に揚り磐中軍再び平商に屈する所となつた

第五回戰（コート決勝）

磐城中學（大谷 宮川）4―1 仙台二中（平塚 阿部）

磐城中學（篠原 水野）4―0 宮城水産（佐藤 千石）

平商業（本田 岩佐）5―3 白石中學（高山 大澤）

准決勝戰

磐城中學（大谷 宮川）4―2 新潟師範（宮内 長谷川）

平商業（本田 岩佐）5―3 磐城中學（篠原 水野）

決勝戰

平商業（本田 岩佐）4455―0033 磐城中學（大谷 宮川）

人絹軍優勝
軟式野球戰績

植田スポーツ協會主催第三回植田方部軟式野球大會は二十四、五の兩日植田小學校で擧行、參加九チーム熱戰の結果初出場の昭和人絹會社チームが優勝大カップを獲得、准決勝後の戰績左の如し

（准決勝）

泉	0	0	0	2	0	0	0	3―2
林友	1	2	0	0	0	0	0	
勿來	0	0	0	0	0	0	0	1―0
人絹	1	0	0	0	0	0	0	

（決勝戰）

林友	0	1	0	0	0	0	0	4―1
人絹	1	1	0	2	0	0	0	

對局野球休止

縣下四都市局對抗野球戰は昨二十五日午前九時より郡山市内二球場に開始したが降雨のため各軍の意氣沮喪甚しく勝敗を決せず今年度大會は中止、來年度大會迄持越し優勝旗は仙台遞友會に存置することになり平局軍は昨夜歸廳した

。。。。教員競技豫選 體育協會石城支部では、神宮競技大會出場教員選手豫選會を兼ねた本郡對多賀郡對抗競技選手豫選會を來月八日午前九時より磐中校庭に開く事になり郡下各校に通知した

性病豫防宣傳映畫

平町世界館では來月九日より縣衛生課、平署並に郡醫師會、産婆會後援の下に獨逸パツトマン氏撮影の性病豫防思想普及映畫『血の敵』九卷を上映する

盜んだ自轉車で歸郷
小名濱海水浴場も荒して 磐崎生れの青年擧げらる

昨二十五日午後五時頃小名濱町地内を自轉車で乘り廻してゐる擧動不審の靑年あるを平署員が調べると、右は磐崎村白鳥生れ大田原春五郎（二九）假名―で昨年四月上京したがこれといつた仕事がないので邪道に陷り淺草公園其他盛り場等でスリ専門に荒し廻り今月上旬盜んだ自轉車で歸郷してから炭軌道停留所から木綿單衣外數點を窃取したのを手初めに同町海水浴場から數件の窃盜を自白目下警視廳に指紋で餘罪照される

骨肉爭鬪 棍棒で一撃
弟の傷要療三週間

好間村町田魚商遠藤萬吉（三五）は今二十六日午前九時頃自宅で兄弟喧嘩をし棍棒で兄のため頭部其他に全治三週間の傷を負つた

小名濱町會

二十六日午前九時から開き關東北六縣水産大會並に水産講習所落成祝賀協賛外二件を附議

坑夫感電

好間村北好間萩原鑛業所坑夫佐藤長孫（五二）は二十四日午後九時半頃坑内で採炭作業中誤つて高壓線にふれ即死した

。。。。小名濱諏訪社祭典 二十六日より二日間盛大に執行される

。。。。癖の惡い出前持 平町古鍛冶町石井勝五郎（三五）は同町二丁目魚清食堂に雇はれ去る四月以來現金十五、六圓宛數回に亘りゴマ化し又鍛冶町富士そば屋に出前持ちに雇はれ主人からあづかつた釣錢九圓六十錢を遺失したと詐つて横領着服逃亡中昨二十五日南町地内徘徊中を平署員に檢擧された、餘罪十數件を自供して居る

。。。。北海道移民募集 北海道廳が募集する十年度自作農移住者は平町でも斡旋する事になり希望者は町役場で詳細問ひ合せられたい

。。。。自動車體檢査 濱通り各警察署管内の第三回自動車々体檢査は來る二十九日八幡小路檢車場で執行する

。。。。家出 安積郡富久山村大字久保田染物業田代喜平方雇人大塚光雄（一九）は二十四日平町方面に友を賴つて來た形跡あるので二十五日雇主から平署に取り押へ方を願ひ出た

。。。。好間村更生協議 今年度經濟更生村に指定された好間村の同委員會は來月一日午前九時から開き縣指示の更生計劃に就き協議する

机の下が彼の世
遊戲中轉落した幼兒 腦震盪で終に絶命

湯本町字辰之口二五兵治五男佐藤健司（三）は二十四日午後五時頃見照一（一〇）と自宅附近で机の上等に上り遊戲中誤つて轉落頭部を强打腦震盪を起し最寄病院で治療中二十五日午前七時半頃遂に死亡した

。。。。エロ漢に四ヶ月 人妻に懸想し深夜忍び込み怪しからぬ振舞に及ばんとして住居侵入罪に問はれた双葉郡大堀村森茂（三七）に係る控訴公判は一昨二十四日福島地方公判廷に中村裁判長係り開廷、原審通りの求刑八月に對し懲役四月を言渡された

トラック橋を毀す
車体谷口横の溝に墜ち 助手輕傷を負ふ

二十四日午後三時頃東京市丸成貨物自動車部運轉手武子某（二八）運轉の貨物自動車が平町二丁目横町谷口樓前にさしかゝるや重みのため突然石橋が破壞溝中に墜落助手が右腕に輕傷を負つた

滿洲から直接に 小名濱へ陸上げ
品川白煉瓦の原料を

曩に試みられた湯本町品川白煉瓦工場から九州への製品積出しは小名濱港利用の皮切りとして地方民に深い記憶を烙きつけたが近く第二回の積み出しある處へ前記品川工場の社長は過般小名濱町に至り本年中二千噸級の汽船を購入し湯本工場用の原料を滿洲から直接小名濱港へ陸上する事に決定した旨を告げたとの事で、彼此小名濱商港發達史に輝かしい第一頁を約束してゐる形である

殘炎閑話 (4)
葬式前後に三石消費
酒疲れで野邊送りの途中落伍者續出 其れが多い丈け喪家の鼻が高いわけ
秘められた石城の原始鄕

食ふ事にはさまで事を欠かす、生來餘り生の重壓などゝ云ふものを知らぬ之の部落の人にも所謂壽命の『死』は終に免れなかつた而も一たび部落に不幸あるや、之を聞き傳へた字びとは喪家との間に於ける常日頃の親疎などにはたかまひなく、西から東から續々と一軒殘らずその家に集り、庭先に急造の竈を築き念入りにも各自持ち寄つた鍋釜を仕掛け、その家の意嚮がどうあらうと其日から思ひ切つた大盤振る舞ひをはじめる

○

往々嚴めしい民法のお法度さへ無視さるゝ此所では何年の前から遣り來つた古い傳統の前には經費節約も生活改善も、抃歴事は殆ど三文[illegible]切りの値うちも無かつた、尤もその家の暮し向きの如何によつて多少の手心はあるにせよ、兎に角徹底的に大に飲み大に食ふ。一寸考へられぬお葬式風景ではあるが事實なるを奈何せんである

○

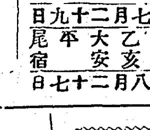
何せ尋常六年を卒業すると急に大人になつて、竈の都合で炭燒きの休みなどには、袂ある着物に洒れ若い衆を氣取り、腰の煙草入れをスポンと拔いてなでしこの抓み具合も鮮やかにスパ〳〵やる位は未だしも、一升六十錢位の處を叩りつけて尚ほフーゼル作用が起らぬ――と云つた猛者連から年長では『村の舊慣故俗は一から十迄俺にきかねば解らぬ』位に自負してる連中などの集り丈けに、飲むは飲むは最近の實例によるとはしまりから後拭き迄實に斗樽三十挺、この數量三石を飲み干したさうな

○

愈々葬儀當日となる。兩日來の酒疲れで瞳孔の散大した連中は、棺に跟いて蹌踉蹣跚山の墓所へ行くのであるが、二三日据ゑて置いた御輿が急に動き出した爲に鬱積して居た醉が一時に發してバタリ〳〵二〇三高地を攀づる勇士の如く途上に倒れてその儘鼾聲雷の如く眠つて了ふのもあつて、この落伍者がその葬儀に最も深甚なる哀悼の意を表した事になり、そんなのゝ多い事を以てその家の鼻が高いのだと云ふ

二十七日 （小名濱測候所調査）

日出	五、〇四	月出前	三、一〇
日沒	六、一三	月沒後	五、〇五
滿潮前	二、一〇	干潮前	九、〇五
滿潮後	四、三五	干潮後	一〇、〇五



舊七月二十九日 火曜 乙亥 大安 平 尾宿 新八月二十七日

勝利定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 希望計畫のみ大にして功果を見ず進むに凶▲二黒 思ふ程に伸びざるとも耐忍すれば終に成る▲三碧 他の同情を失はざる樣賃直に勵めば大に吉▲四綠 心を外に移さず分を守り精勵すればと がなし▲五黄 急過すれば却て蹉跌あり又華奕を戒むべし▲六白 氣迎作良にして無理さへ行はざれば成就す▲七赤 氣分の動搖を防ぎ事業に執着し他を顧るな▲八白 心を配る程に物事は進捗せずとも落膽するな▲九紫 我意のみ貫かんとせず他の言を容るが吉

內臟外科 外科一般 花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
安齋外科醫院
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店 電話六一番
本店 水戸線下館驛前（電話五五番）
營業種目 石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡麻、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店所在地 茨城縣土浦町田宿（電話六五三 八二四）常磐線關本驛前（電話平潟五四）常磐線四倉驛前（電話四八）久慈濱支店 海上給油及油槽所（大津、平潟、小名濱、江名濱）

お醬油は……ヤマフル
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
鹽屋 山崎合名會社 福島縣平町 電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

吉田眼科病院
平町紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

夜間診療
胃腸性病
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院（平町南町電話一〇七番）
（見習看護婦募集）

廣告
磐城名物 靈峰羊羹
小川郷驛前 平屋賣店